

甲斐市教育委員会第11回定例会議事録

- 1 日 時 令和3年2月25日(木)午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館3階 竜王北部公民館 視聴覚教室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 **【教育長】** 宮坂雄次郎教育長
【委 員】 長田明美職務代理者 小林啓子委員
金子初男委員 中込正久委員
【説明員】 山田洋教育部長 名取藤吾教育総務課長
興石信学校教育課長 大嶋正之生涯学習文化課長
山岡広司スポーツ振興課長 保坂義実図書館長
小山田拓也学校教育指導監 窪田美世学事係長
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 森川嘉亮教育総務係長 柴崎唯教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 令和2年度 第10回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題
第1号 令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
第2号 甲斐市立小中学校管理規則の一部改正について
第3号 甲斐市立小中学校共同学校事務室運営規程の制定について
- 10 その他
 - (1) 令和2年度末及び令和3年度始め教育委員会関係の予定について
 - (2) 学校評価事業アンケート等結果について
 - (3) 「青少年活動の活性化におけるジュニアリーダーの確保・育成のあり方について」の答申について
 - (4) 東京2020オリンピック・パラリンピックに係る事業計画について
 - (5) 3月の行事予定について
- 11 閉 会 午後3時00分

○開 会

事務局 開会を宣する。

○あいさつ

教育長 令和2年度の学校評価事業アンケートを読みました。コロナ禍でしたが、小学生も中学生も、学校の先生方や各家庭のご指導により健全な生活を送っていることが読み取れます。

創甲斐教育の「国語力の向上・自己表現力の向上・体力の向上」の三点も、甲斐っ子の宝も、十分意識されているようで喜ばしいことだと思います。

教育総務課、スポーツ振興課、生涯学習文化課、図書館、学校教育課がコロナ禍の中、第2次創甲斐教育推進大綱の具現化に向け、継続的に取り組んでいることの成果であると大変感謝しているところです。

○教育長報告

教育長 1 ページをご参照いただきたいと思います。主なものについてご報告申し上げます。

2 日、PTA連絡協議会からの要望に対する回答書を渡しました。

3 日、双葉西小学校の学校運営協議会から教職員の任用に関する意見申出書が提出されました。回答は3月の月上旬から中旬を予定しています。是非そのままコーディネーターを配置してほしいというご意見がありましたので、配置していけるよう話をしているところです。

以上です。

○議題

教育長 議題の審議に入ります前に、議題第1号「令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について」は、個人情報に関する事項が含まれます。したがって、甲斐市教育委員会会議規則第15条の規定により、議題第1号を非公開とすることについてお諮りします。

非公開とすることにご異議はございませんか。

一 同 異議なし。

教育長

ご異議がありませんので議題第1号は非公開といたします。

【ここから非公開】

第1号 令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

教育長

1号議案はこれで終了いたします

非公開とした議題第1号「令和2年度要保護・準要保護児童生徒の認定について」の審議が終わりましたので、これより公開とします。

【ここから公開】

第2号 甲斐市立小中学校管理規則の一部改正について

教育長

議題第2号及び議題第3号につきましては、関連がありますので一括で説明をしていただき、質疑に入りたいと思います。

事務局

(資料説明)

第3号 甲斐市立小中学校共同学校事務室運営規程の制定について

事務局

(資料説明)

委員

以前、管理主事との面談の際に、小中学校共同学校事務室の設置については必ずしも県が認めるかはわからないという話でしたが、その後、県から動きがあったのでしょうか。

事務局

小中学校共同学校事務室を設置することについては県に対して申請をすることとなっており、昨年度も3月上旬に申請関係の通知が県から来ておりますので、今年度も同じように設置する教育委員会についてはそれを提出するよう通知がくると思います。それに基づきまして年度末までに申請をする予定です。

教育長

他にご意見等ありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

○その他

(1) 令和2年度末及び令和3年度始め教育委員会関係の予定について

事務局
教育長
一同

(資料説明)

ご意見等ありますか。よろしいですか。

異議なし。

(2) 学校評価事業アンケート等結果について

事務局
委員

(資料説明)

例年のことですが、このようにご苦勞頂いて、より充実した教育活動の実施に向け、年度を振り返り点検をして、成果や課題を把握して取り組むということが大切だと思います。

今年度はコロナ禍の中、子どもたちにはストレスがあったと思いますが、学校が楽しいとか、授業が楽しいという部分の数値が上がっていて、学校という場所がみんなと交流出来たり、勉強が出来て楽しい場所だという傾向が表れているところは良かったと思います。

一方で、出来なくなってしまった部分もあると思いますので、学校現場ではそういった部分に対してどういったアプローチをしていくのかということも次に生かしていることと思います。

質問ですが、学校アンケートの中に、平均値とありますが、これは1から5段階あるうちの3が大体、平均の成果だと捉えればよいでしょうか。

事務局

平均値は、各回答に点数が付いており、それを人数で割った数字となります。

事務局

4点が満点なので、3.49が平均となります。限りなく4点に近い人が多いという見方です。

委員

4点の総人数掛ける3点の総人数を足して全体の人数で割ったということでしょうか。

事務局

そうです。

委員

3点を超えていれば概ね良しとするわけですね。18ページの「教師と中学生との関係～相談できる先生がいる」という設問の数値を見ますと、教職員の数値と比較して生徒と保護者の数値が同じような傾向です。このあたりは教師の意識と生徒と保護者の意識が乖離しているのではない

かと感じました。

また、36 ページのオリジナル項目で、今非常に課題となっている多忙化改善や業務の効率化を反省の項目としてあげている学校は、点検をしていくことが大切だと思います。

さらに、「お子さんは家で、スマホ・タブレット・ゲーム機・パソコンを、学習以外で、一日あたりどのくらいの時間、使いますか。」という設問がありますが、こういった保護者の方自身が自分たちを振り返る項目も良いと思いました。常に学校に対して聞くということも大切かもしれませんが、保護者自身の家庭での取組意識がどうなのかということ进行调查するのも良いと思いました。

それから、竜王中学校の設問に「不登校の生徒やふれあい教室へ登校している生徒に対し、多くの職員が関わり指導している。」や「少人数やT Tの指導などきめ細かな学習指導により、生徒の学習意欲が向上している。」などの項目の数値が低く、本年度は不登校生徒が多かったことで、教職員の方のそういったものが反映されているのではないかと危惧したところでした。

事務局

ありがとうございます。この結果につきましては各学校に配られますので、自己評価などをしていただく材料となります。また、学校でこの結果を踏まえて、来年の計画やグランドデザインを考え、ホームページへ公開する形となります。数値が良くない内容を是正していく材料となりますので、今後も続けていきたいと思ひます。

委員

竜王中学校のオリジナル項目では、一番下の項目が10パーセントの所が多かったことで、気を付けてあげなければなりません。各学校で設問内容が違ふので、一概に比較することは出来ないかもしれませんが、少し目につきました。

また、すごく良いところや悪いところははっきりとは出てこないと思ひますが、46 ページの敷島南小学校の「学校は、ICTの活用に入力を入れて取り組んでいると思う。」という設問に対し、Eの回答率が半分ほどあります。教育委員会の方でアドバイスをしてあげた方がいいかもしれません。ICTも始まったばかりなので、子どもたちについては指導強化してほしいと思ひます。

各校で見てもらうのは、1やEの回答率の多い学校だと思います。特に1割以上あると多いように思いますので、教育委員会からアドバイスをしあげると良いと思います。双葉東小の「学校は、心の教育に力を入れて取り組んでいると思う。」のEの回答率が2パーセント近くになっています。先ほどの敷島南小学校もそうですが、回答率としては大きすぎると思います。

また、50ページの令和6年度の目標値については、既に達成している学校も多いので、さらに目標を上げてもいいかもしれません。例えば、「豊かな心の育成」のうち、「甲斐市学校評価・児童生徒用アンケートにおける「平日、家や図書館などで、一日あたりどのくらいの時間、読書を読みますか」の設問に「30分以上」と回答した児童生徒の割合。」では、令和6年度の目標値が小学校で50パーセントとなっておりますが、令和2年度の数値は59.4パーセントとなっております。目標というのは目指していくものですので、設定の方法が甘いのではないかとともいわれますので、考えていただきたいと思います。

事務局

目標値につきましては、単年度で数値が出ておりますので、今年良い数値が出ていても来年度には落ちてしまう可能性もあります。令和6年度までの年度で平均してこの目標値が取ればということを考えております。次回の目標値につきましてはそんなことも踏まえて検討していきたいと思います。また、アンケート結果と今日の教育委員会の内容も踏まえて、各校には自己評価を進めていくように伝えたいと思います。

委員

コロナ禍の中、結果が全体的に良い傾向であったことは素晴らしいと思います。しかし、「仲が良く、いろいろな事を相談できる友達がいますか。」という設問の「よくしている」と回答した率が下がっている学校があるようですが、「だれとでも挨拶をしていますか。」という設問も若干下がっており、人間関係に影響があったのかと思います。今後の情勢にもよりますが、また、改善ができれば良いと思います。

新設のアンケートの課題についても、「スマホ・タブレット・ゲーム機・パソコンを、学習以外で一日あたりどのくらいの時間、使いますか。」を見る限り、小学生では「1時間以上」と回答した子どもが過半数であることや、中学生では「2時間以上」と回答した子が過半数となっ

ており、情報リテラシーの授業が重要であると感じました。

また、教員の「あなたは校務支援システムを十分活用できていますか。」についても、「そう思わない」と回答したのが14パーセントだったのも、今後の課題であると思いました。

事務局

友達が減ってしまったということについては、先日の総合教育会議でご意見がありましたように、1年生は入学をしてからマスクをしたまま過ごしており、なかなかコミュニケーションがとりにくいという話がありました。しかし、マスクを着用した生活に慣れてきましたので、新しい生活様式の中で、コミュニケーションを取る方法を段々覚えていくのではないかと思います。

子どものスマホについてですが、GIGAスクールが始まり、この数字については注視していく必要があると思います。

また、校務支援システムにつきましても、2年目に入り、先生方も慣れてくるのではないかと思いますので、その辺はまた、学校でも格差が出ないように気を付けていきたいと思います。

委員

スマホ・タブレット・ゲーム機を全体で一括してどれくらい使うかという設問ですが、来年以降はゲームで遊ぶ時間と学習に利用する時間を分けてアンケートを取る必要があると思います。

教育長

そういう観点も必要だと思います。

他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同

異議なし。

(3)「青少年活動の活性化におけるジュニアリーダーの確保・育成のあり方について」の答申について

事務局

(資料説明)

委員

以前は航空学校でお祭りをやっていましたよね。今はコロナウイルスにより活躍の場が少ないように思います。今はどんな取り組みがあるのでしょうか。そういった存在を示すような場を積極的に作ってあげないと張り合いが無くなってしまうと思います。

事務局

昨年度からコロナ禍におきまして、人の集まる事業・行事等が軒並み中止となっています。ジュニアリーダーの活動につきましても、その影

響を大きく受けており、昨年度の事業につきましては中止となりました。今後は従来の研修、あるいはいろいろな活動の他、ラジオ体操等の各地域で行われている行事に溶け込んで、地域との活動を一体化させていきたいと考えています。

委員 提言が4つ示されておりますが、これらを各地域で具体化させていく必要があると思います。一部の地域だけが盛んな状況だと思いますが、生涯学習文化課などが、どの地域でも同じような方向性でいく手立てが各地域に根付くよう、取り組んでいけるように推進を図っていくことが大事だと思います。

事務局 ジュニアリーダーにつきましては、各公民館で青少年の地区民会議というものがあり、そこと共同でいろいろな事業を進めております。今後も地域と連携を取りながら、どこかが突出することが無く、すべて共同でできるもの、安定的に事業が進められるように歩調を合わせて取り組んでいきたいと思います。

教育長 その他ご質問はございますか。なければよろしいでしょうか。

一同 異議なし。

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックに係る事業計画について

事務局 (資料説明)

委員 この事業計画の内容については、市民の皆さんに対してお知らせする予定があるのでしょうか。どのように広報をするのでしょうか。

事務局 市民の皆様にはもちろん広報します。方法としましては、広報誌とホームページに掲載し、聖火リレーについては近隣にご迷惑をおかけするというので、各自治会にもパンフレット等を配布し、ご協力をお願いしていく予定です。

教育長 ご意見ご質問ありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(5) 3月の行事予定について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。